

きんもくせい

平成26年 学校教育だより

September **9** 第322号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



「大きく手を振ってー1・2のジャンプ!」～自分の記録を伸ばそう～ 写真提供/針ヶ谷小学校

「花火」

水谷東小学校 六年

興津 愛葉

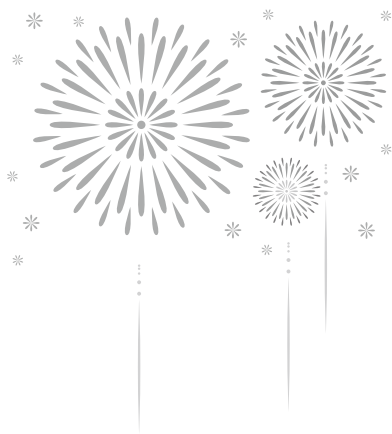
バーン バーン

今年もぼくらは花をさかせる
みんなの声を聞きながら

バーンバーン

またまたちがう音をたてる
夏ももう終わる

だからみんなが喜ぶ花を
さかせるんだ!!



明るく安心して学べる学校を目指して

平成二十三年に滋賀県大津市で中学二年生がいじめを原因に自殺をしました。この事件は世間に衝撃をあたえ、あらためていじめ問題が社会全体で取り組むべき、喫緊の課題であることが提起されました。

平成二十五年に、いじめ防止等の対策を総合的かつ効果的に進めるための法律、「いじめ防止対策推進法」が施行され、県、市、学校それぞれの立場でいじめの撲滅を目指す取組みが行われています。このような背景のなか、本校は平成二十五年、二十六年に埼玉県「明るく安心して学べる学校づくり推進校」の指定を受け、その事業の一環として「いじめ防止プログラム」を進めています。これは特定非営利法人 湘南DVサポートセンターの協力を得ながら、いじめへの理解を深め、自らの尊さに気付き、コミュニケーション能力を高めていく内容になっています。以下に本校の取り組みについて紹介します。

平成二十五年年度いじめ防止プログラム講演会

本郷中学校 教諭 岩沢 裕

平成二十五年六月二〇日(木)の五、六校時に特定非営利活動法人 湘南DVサポートセンターの飯田亮瑠さんを講師に招き、全校生徒を対象に体育館で講演会を行いました。内容は、いじめの加害者被害者の心理的背景についての解説や、代表生徒と講師の先生でアサーション(相手に配慮をもって自分の意見を伝える方法)のロールプレイング等を行いました。講師の先生の人柄や巧みな指導技術もあり、生徒もいじめに対して

わかる授業 =中学校 特別活動=

コミュニケーション能力と いじめ撲滅を目指す 自尊感情を高め、



教員によるいじめのロールプレイング

いました。初めての試みでしたが、より意欲をもって考えている生徒の姿が多く見られました。

②各学年ごとの講演会 今年度も湘南DVサポートセンターの飯田さんを講師として、七月二日(水)、七月七日(月)の二日間に分け、学年単位で行いました。内容はいじめの定義や心理を様々な視点から理解するもので、講義の後半には六人一グループで模造紙にいじめる人の気持ちを絵で表現しました。ワークシヨップ形式と生徒の活動を織り交ぜ、より小集団で取り組んだことから、生徒も意欲的に取り組むことができました。



講師による講演会

生徒の主体的な取組みへ いじめを撲滅するためには、いじめを許さない学校風土の

の認識を新たにすることができたようです。

富士見台中学校 3年 城内 香乃



私たちの学校では「あいさつ運動」を実施しています。生徒会と学年委員が毎朝、昇降口で「おはようございます」と大きな声であいさつをしています。月に1度は地域の方々も来てくださり、一緒に活動しています。あいさつはこれから社会に出るうえでとても大切なこ

あいさつ運動実施中!

とだと思えます。また、あいさつをするとお互いがとても清々しい気持ちになります。富士見台中生全員が今以上に「気持ちの良いあいさつをしよう」と思ってくれることを願って毎日昇降口に立っています。私はこの活動に誇りを持ち、これからも元気よくあいさつをしていきたいです。



平成二十六年年度の取組み

今年度は昨年度の取組みをさらに深めるため、四時間を単元としたいじめ防止プログラムを実施しています。

①各学年の道徳の授業

一、三年生では副読本や映像教材を使って被害者のつらい心理などを理解する内容の授業を行いました。また、二年生では学年教師が生徒役になって学校の生活のなかで起こりえる場面をロールプレイングで示し、それを映像教材にして各クラスで授業を行

③学級活動における各学年での授業

講演会をうけて各学級で学級活動の授業を行いました。特に一、三年生は、保護者の関心も高めるために授業公開日に行いました。授業では、事前に記入した被害者や加害者、傍観者になった経験とその時の気持ちを答えるアンケートを活用し、いじめ問題は誰もが様々な立場になって繰り返される(いじめの輪)ものだと生徒に気付かせました。その解決策として自分の良さ、友達の良いところを見つけて認めることが大切だと提示し、六人一グループで模造紙に自分の良さを書きだし、発表し合いました。

まとめ

これを各学年の学年委員が作った「いじめ撲滅宣言」とともに掲示し、いじめ撲滅のための学校風土の醸成につなげていきます。

指導・講評 本郷中学校校長 戸田 一也

昨年九月に施行された「いじめ防止対策推進法」において各学年には「学校いじめ防止基本方針」を策定することが義務づけられました。学校は、この基本方針に基づき、体系的・計画的に、いじめの未然防止・いじめの早期発見に取り組む、いじめがあった場合の対応に備えることが求められています。生徒たちが自らの手でいじめの問題に取り組む、解決につなげていく意識を高め、実行していくことが、いじめの未然防止に一番効果的です。

特別支援教育

思い出の宿泊学習

みずほ台小学校 教諭 小澤 久美子

今年度は、男子児童二人と校長先生、担任の四人での宿泊学習でした。自立に向けて生活経験を増やすことと公共機関の利

用により社会性を広げ、生活を豊かにすることをめあてに行いました。子どもたちは、宿泊学習に向けて、生活単元学習の時間を中心に事前学習を重ねてきました。駅やお店に行つて自分で品物を選び、お金を払つ

て買い物をする経験もしました。当日は二日間ともあいにくの雨でしたが、中身は充実していました。一日目は智光山公園にある動物園に行き、ふれあいコーナーでは、大好きな動物にエサをあげ、だっこをして、動物にふれあうことができました。宿では自由時間に絵合わせのカルタをしたり、テレビを見

たりしてゆっくり過ごしました。お風呂は、貸し切りで、校長先生とのんびり入りました。夕食後に、子どもたちがお家の人に書いた葉書にもお風呂が一番楽しかったと書いていました。二日目は、サイボクハムに出かけ、陶芸教室でお皿に絵をかいたり、お家へのお土産も買いました。昼食も自分でお金を払い、あいさつもきちんとできました。学習を通して自分でやること、そしてお互いに助け合つて過ごすことの大切さを学べました。ここで経験したこと



3年生の学級活動

④一人一人のいじめ撲滅宣言 いじめ防止プログラムのまとめとして、生徒一人一人が「いじめ撲滅宣言」をしました。

子どもと正面から正直に

関沢小学校 保護者 秋月 恵

私は、子どもの頃から、いつも優しく大きな心で見守り育ててくれた両親のことに尊敬していました。そんな両親に恥じない子育てをしたいと日々、子どもたちと正面から向き合っています。そんな中で気付かされたことがあります。それは、「子どもを育てることで、実は親も育てられているのではないか。」ということでした。

我が子二人はどちらも先生やお友達に恵まれ、毎日楽しく学校に通っています。

そんな子どもたちと会話をしていると、時には優しく温かい気持ちになったり、夢に向かって頑張っている姿を見ると、「私も何か始めてみようー」「もう少し頑張ってみようー」と前向きな気持ちになれたりします。

そんな楽しい時間も、子どもたちが大きく成長するにつれて、段々と少なくなってきました。慌ただしく過ぎていく毎日の中で、私が大切だと気付かされた二つの言葉があります。それは「ありがとう」



う」と「ごめんね」です。何気ない優しさや、ちょっとした頑張りに対して素直に感謝の気持ちを伝えること。こちらの都合で言い過ぎたり、約束を守れなかったりした時は正直に謝まること。「子ども」ではなく「人間」として大切に扱っていきたいと思います。

います。その平和が続くことを願うとともに、保護者の皆さんには、子どもたちが自分の身は自分で守る習慣を身に付けていける様にご指導をよろしく願います。



「一日西中生」

西中学校



私が子どもの頃は、「欲しがりません 勝つまでは。」という戦争の真つただ中で、我慢我慢の毎日でした。今は、戦争のない平和な国になって

「中一ギャップ」、「小中連携」現在、学校における課題としてよく耳にするようになりました。西中学校では今年度から「小中連携」を学校研究のテーマに研究を進めています。六月には校区内の関沢小学校、針ヶ谷小学校の六年生を招き、「一日西中生」というかたちで午前中の三時間を使い、学校説明や校内見学、教室に入っの授業見学等を



に行きました。写真は英語の授業風景です。中学校で初めて学習する英語の学習に興味津々な様子で見学していました。先生からの突然の質問に少し照れる様子を見せながらも楽しそうに答えていました。小学生にとって中学校の生活は未知の世界であり、進学にあたっては希望と不安が入り混じっていると思います。西中学校では二学期以降もさら

「ピア・サポート活動」



勝瀬小学校

勝瀬小学校では、昨年度からピア・サポート活動に取り組んでいます。ピア・サポートとは、「仲間を支える」という意味です。

勝瀬小学校のピア・サポート活動は、①授業時間などに先生が意図的に取り組む活動②ピア・サポートに関心を持った子どもたち(ピア・サポーター)が自主的に仲間を支援する活動③高学年のピア・サポーターが学校全体の仲間

を支援する活動の三つを柱としています。

これまでの実践では、ピア・サポーターになった子どもたちから、「友だちの悩みを聞いたときに(自分が)どうしたの?」「そうなんだ」と言えてうれしかった。」「みんなから『この間はありがとう』と言われてうれしかった。』などの感想が挙げられています。

このように、勝瀬小学校で



は、ピア・サポート活動を通して、豊かな心と温かい人間関係を育成することを目指しています。

教育課題特集

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

生きる力を

子ども達の安全を見守り続けて

諏訪小学校スクールガードリーダー 太田 操

富士見市諏訪小学校、開校四十周年記念、誠におめでとうございます。私は、定年を迎えてから、すぐに町会の防犯活動に入りました。今年で八年目になります。その中でスクールガードリーダーは、今回で四年になります。

昔の話になりますが、諏訪小学校の初代の交通指導員は、私の妻がやっていたのです。夫婦でこの学校にはご縁がある

ります。この七年間一件の事故・事件もなく本当によかったと思っています。

今、思い出すと東日本の大震災時は大変な思いをしました。地震後に児童全員が無事に帰宅することができましたが、これも地域安全ボランティアの皆さんの懸命な協力があったからだと思います。

最近では、凶暴な殺人事件

子育てという人生

鶴瀬小学校 保護者 PTA会長 栗原 輝充

私の趣味は子育てです。旧友とのゴルフや仲間とお酒も好きですが、巣立っていつてしまう前の今、この十年ほどしかできない、私の人生において最も楽しく、有意義な時間です。

また、私の次代を育て終えたならば、私の人生、役目は終わりとも思え、我が身に万が一が起きたとしても、何等悔いなく世を去ることもできます。少し重い話となりましたが、そのように思っております。



「背中を見せて育てる」と言いますが、中一の娘と小五の息子は、すでに私を超えています。

富士見市いじめのない学校づくり子ども会議

日時 11月14日(金) 9時30分～12時30分

場所 針ヶ谷コミュニティセンター

いじめ防止に向けた各校での取組を市内全域に広げ、いじめが起きにくい学校づくり、学級づくりを築くために、いじめを生まないために何をすればいいのか、何をすることが必要なかを子どもたちが話し合う『富士見市いじめのない学校づくり子ども会議』を行います。



富士見特別支援学校

よっしゃこい！
5月24日に運動会が行われました。中学部全員で踊った『よっしゃこい！』では、練習の成果を発揮することができました。



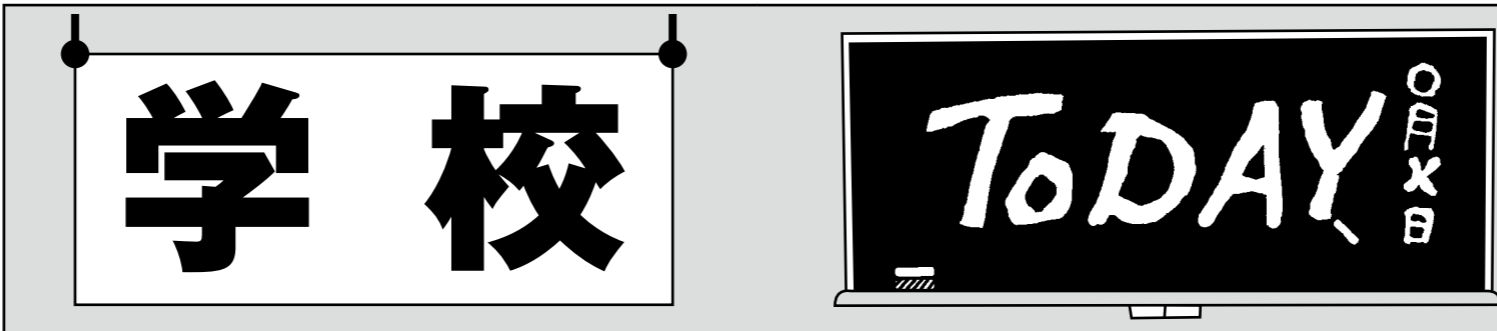
南畑小

南畑小夏祭り
毎年6月に行われる、縦割りグループによる遊び集会です。各グループともに趣向を凝らした遊びを考えています。このほかに、全校遠足や運動会のダンスなどを縦割り集団でおこない、他学年との交流を深めています。



つるせ台小

地域で高める防災意識～「合同防災訓練」～
6月27日に、学校・家庭・地域・市が連携して地震を想定した訓練を実施しました。煙体験やAED・炊き出し等の訓練のブースを町会ごとに廻り、「いざ」という時にどうすればよいのか、学びました。



ふじみ野小

歌声を、ふじみ野小の伝統に
発声や表現の向上を目指し4年生以上の有志で組織された「歌声リーダー」。音楽朝会では全校に手本を示すほか地域の行事やコンクールに参加するなど、合唱を本校の伝統として根付かせるべく積極的に活動しています。



本郷中

「それゆけ!! 本中生」
五月晴れの空の下、今年度の体育祭に新種目が登場しました。生徒会の音頭で導入した学年縦割り種目「それゆけ!! 本中生」。3年生の熱のこもったリードで、どのチームも素早いジャンプで勝利を目指して頑張りました。



水谷小

道徳朝会～あいさつ名人になろう
あいさつ名人を目指して、全校児童があいさつリレーをしました。多くの子が「相手を見て」「笑顔で」「聞こえる声で」あいさつをし、友達の輪を広げることができました。「笑顔のふれ合う楽しい学校」の取組です。

八月二十五日、真っ黒に日焼けした子どもたちが元気に登校してきました。今年度から、市内の全ての小・中学校では、今までよりも一週間早く二学期が始まりました。子どもたちは、空調設備が整った教室で、快適に学習をすることができています。
各学校では、増えた授業時数を有効活用できるよう、計画的に教育活動に取り組んでいます。学力の向上のための授業の充実や復習の時間の確保、豊かな心を育成するための体験学習の充実など、創意工夫をした活動を展開していきます。特に体験活動では、地域の方のお力をお借りすることも多くなります。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



富士見台中

朝のあいさつ運動
本校では、生徒会の学年委員会を中心に、毎日、朝のあいさつ運動を行っています。また、第3木曜日には、少年補導員等と合同で実施しています。



鶴瀬小

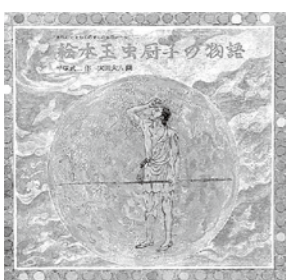
児童会による「あいさつ運動」
「おはようございます」と登校してくる児童を、児童会役員が元気に迎えます。登り旗には「おはようがみんなの元気鶴瀬小」「世界一あいさつのできる鶴瀬小」などとキャッチフレーズが書かれています。



水谷中

「水谷東ふるさとまつり」へ吹奏楽部出演
第30回水谷東ふるさとまつりで吹奏楽部が演奏を披露し、地域のまつりを盛り上げました。この夏にも他の祭りにも参加し、地域からも愛されている部活動です。

おすすめの本



えほん たまむし すし ものがたり
絵本玉虫厨子の物語
平塚武二 作 太田大八 画
第3回絵本にっぽん賞受賞作品

かすかにのこる玉虫のはねをきらめかせ、いまもつたわる法隆寺玉虫厨子。美しいものは何かと気づかされる一冊です。

さつている方々に対し、何か新たな取り組みをお願いするものではありません。現在の取り組みは、ぜひ継続していただきたくお願いいたします。ただ、日々活動される中にも、もしこの共通のキャッチフレーズを加えていただくことができれば、「各々」の活動が「市全体」としての大きな運動に変わります。「周囲の目があることで、犯罪・事故を未然に防ぐ」この運動に対し、みなさまのご理解・ご協力をいただけますよう、お願いいたします。

安全・安心に向けて、はちさんゴー!(835) 富士見市PTA連合会 会長 佐野 正幸

小・中・特別支援学校PTAで構成する当会では、今年から新たに、子どもの安全・安心(防犯・交通安全)に対する取り組みとして、「835(はちさんゴー!)運動」を始めました。

この運動は、子どもの登下校・帰宅が多い8:35時の前後を中心に「地域で子どもたちの安全を見守ろう」と意識をもっていただく運動です。これらの時間帯を、はちさんゴーとゴロ合わせし、覚えやすいキャッチフレーズで運動の定着を図っていきます。

1. 「ながら見守り」で気軽に参加
子どもの登下校・帰宅の多い時間帯に合わせて、犬の散歩や買い物、植物への水やりなど、外で何かをし「ながら」声かけをすることで、多くの人の目で子どもの安全見守りに繋がります。
2. 既に活動されている方々のご理解とご協力
既に安全見守り等を行なつてくだ

教育委員会だより

おめでとう！全国・関東大会結果

(敬称略)

○平成26年度全国大会・関東大会出場者
 《第44回 全日本中学校バレーボール選手権大会》
 《第49回 関東中学校バレーボール大会》
 ☆東中学校 バレーボール部(男子) 全国大会3位

関東大会準優勝

手塚 陸斗(3年)	鈴木 大瑚(3年)	阿部 大樹(3年)
神戸 周馬(3年)	郷 秀太楼(3年)	高野 優太(3年)
白石 聖也(2年)	松山 克望(2年)	金子 颯汰(2年)
篠原 勇介(2年)	野々村 蒼生(2年)	武井 樹悠(2年)

《第45回 全国中学校柔道大会》

《第39回 関東中学校柔道大会》

☆富士見台中学校 柔道部

津川 愛美(3年)女子 48kg級 一回戦惜敗(関東、全国大会)

《第41回 全日本中学校陸上競技選手権大会》

《第42回 関東中学校陸上競技選手権大会》

☆西中学校

金森 遙 (3年)800m走予選4組4位(関東大会)
 800m走予選8組6位(全国大会)

☆勝瀬中学校

利田 大紀(3年)200m走決勝6位(関東大会)
 200m走準決勝8位(全国大会)

☆水谷中学校

佐野 陽 (3年)200m走決勝5位(関東大会)
 100m走予選6位 200m走準決勝4位(全国大会)

《第54回 全国中学校水泳競技大会》

☆富士見台中学校

中山 瞬 (3年)400m自由形予選20位
 1500m自由形予選9位

☆西中学校

山本 駿 (3年)200mバタフライ予選13位

《第42回 関東中学校陸上競技選手権大会》

☆富士見台中学校

深澤 颯 (1年)1年男子 1500m走決勝1位
 戸村 祐作(3年)中学男子 1500m走予選2組9位

《第42回 関東中学校卓球大会》

☆東中学校 卓球部(女子)予選敗退

渡部 萌花(3年)戸田 亜莉珠(3年)棚橋 美奈(3年)
 加治 佑菜(2年)小川 莉奈(1年)小田 菜月(1年)
 島貫 結衣(1年)島貫 紗羽(1年)



初めての体育祭

勝瀬中学校教諭 山田 駿佑



に不安と戸惑いを感じながら
 過ごしていた生徒たち。初め
 て同士が集まっていた三組に
 訪れたのは、一年間の行事の
 中でも最も盛り上がる勝中体
 育祭。

本番前に喉が枯れてしま
 うほど応援練習に取り組んで
 る生徒、学級の旗を家で縫っ
 てきてくれる生徒、ケガを顧
 みずに大縄を回し続けてくれ
 る生徒など、各自が自分の

教師になり初めての担任、
 多くの時間を生徒とわかちあ
 える喜びと責任を強く感じな
 がら毎日を通していた私と
 中学校に進学して新しい環境

どんな準備・練習をすれば
 よいのかイメージもつかず過
 ぎていく日々のなかで、競技、
 応援、学級の掲示物づくりまで、
 各自ができることを精一杯し
 ようと学級に伝えた。

取り組んでくれた。
 きることを探して一生懸命に
 その姿を見て、私の気持ち
 も高ぶり、一人ひとりが頑張
 れる雰囲気をつくるために旗
 づくりを手伝い、一緒に種目

の練習をした……。
 全力を尽くしたが、本番の
 結果には結び付かなかった。
 しかし、一人ひとりが全力で
 何かに取り組んだという経験
 をし、自分を含めて学級が一
 つになったという意味では、
 立派な勝瀬中生になるスター
 トを切った体育祭だったと思
 う。

編集日記

札所をお遍路で巡る巡礼旅があ
 るが、近年は、信仰の有無や宗派
 に関係するだけでなく、目的も
 多様化している。心の「よほど
 ころ」を求める癒しや、リフレッ
 シュを目的とする人も多くなっ
 ているのだそう。弘法大師のみな
 らず、旅は道連れならぬ同行二人
 旅を志す人同士の安らぎとなるで
 あろう。共に金剛杖、袈裟、白衣
 の巡礼姿は、身が引き締まり、共
 に「生き方探し」や「旅は道連れ
 世は情け」の体験は、正に安らぎ
 となり、人生そのものでもある。
 子どもも同様である。心が疲れ
 たり、不安があったりしては人間
 関係にも行き詰まり安心して学校
 にも行けない。学習意欲も深まら
 ない。情緒的な繋がりを求め、温
 かい心の触れ合いが不足すると、
 叱られるような冷たい交流を求め
 叱られることで認められようとす
 るそうだ。親や教師が叱るとまた
 叱られることをするという負のスパ
 イラルに入る。また、子どもは
 親や教師の愛情をどこで感じると
 思われるだろうか。保護者や教師
 もご経験があると思うが、例えば
 兄弟関係での食べ物の量や出す順
 番であるとか、先生は、誰に先に
 声かけをしているか、誰と一番話
 しているか「心は行動に表れる」
 ことを理解しているのである。緊
 がりや触れ合いが得られないこと
 は、人生で最も苦痛なことである。
 「八秒間抱っこ」のお勧めを聞き、
 「こにかくむぎゅ」とする「をやっ
 て見る価値はありそう」だ。

(忽清台)